



市埋蔵文化財センター

☎23-8020

9

どきどき  
たいむとらべらー

## 蝦夷(えみし)の刀?

「蔵手刀」。なんとも不思議な名前ですね。

山菜好きの人にはたまらない「蔵」の呼び名がついたこの刀、皆さんは見たことがありますか?

蔵手刀とは、その字のごとく、太刀の柄頭(手に握るところ)が蔵の若芽のようにうずを巻いている姿に似ているところからそう呼ばれています。

なんとこの蔵手刀、圧倒的に北海道・東北地方から多く出土していますが、その中でもとりわけ岩手県から、最も多く発見されているのです。

さて、蔵手刀が作られていたのは6世紀から8世紀ごろ。このこ

ろ大和朝廷から見て東国に住む人たちは、「蝦夷」と呼ばれていました。

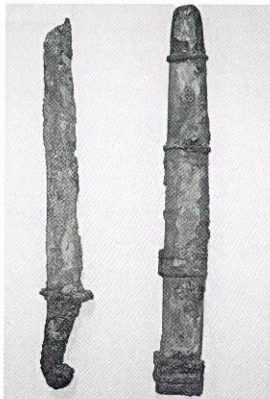
当時の蝦夷の生活がうかがわれる遺跡、特に群集墳からは数多くの副葬品が出土しています。ヒスイやメノウの勾玉、ガラス玉、和銅開珎などなど。蔵手刀もそのひとつ。

これらの副葬品の内容から見て、蔵手刀を持てる人、それは数多い蝦夷の中でもかなりの権力を持った人だったのでしょう。このように蔵手刀は、蝦夷と深い関わりを持った、重要な刀なんです。

もちろん、私たちの住むこの二戸も十分東国であり、蝦夷が住んでいた土地です。

二戸市内からも4点の蔵手刀が出土しており、堀野遺跡出土のもの、を当センターで展示しています。

不思議な名前の蔵手刀、一度見てみませんか?



柄の形がとってもユニークな蔵手刀

## こみゅにTeaたいむ

18科目

### 冬の夜を彩るイルミネーション

冬至が近づき夜が長くなってきました。漆黒の闇に、庭や商店街に飾り付けられたイルミネーションが映え華やいだ気分させてくれます。

浄法寺総合支所前には、商工会青年部による約1万個の電球を使った七色の光の滝が出現しました。浄法寺向田父ちゃんクラブは、地域を元気にしようと通りや各家庭にあたたかみのある同色の電飾を灯しています。福岡通りの商店街は、赤・青・黄など色とりどりの電球で各商店を飾り歳末商戦を盛り上げています。

11月中旬、二戸市民文化会館に本物の常緑樹を使ったツリーが設置されました。ロビーの高い天井に届くようなとても大きなツリーです。リボンやモール、電飾をふんだんに使って豪華に飾り付けています。ツリーは、お正月、小正月の飾りで模様替えをして2月頃までロビーで来訪者を迎えます。

ツリーの点灯時間・毎日午後5時30分か

ら午後9時まで(休館日を除く)です。

二戸の冬に彩を添えるイルミネーションを見に出かけてみてはいかがでしょうか。見る人の心にもきつとあたたかな光が灯ります。



ツリーで華やく市民文化会館。ぜひ一度足を運んでください

この欄の問い合わせは、市地域づくり推進課(内線655)まで